

一般社団法人 GOLD 日本委員会

2016 年度

事業報告書

計算書類

監査報告書

自 2016 年 4 月 1 日

至 2017 年 3 月 31 日

# 事業報告書

2017年6月6日

一般社団法人 GOLD 日本委員会

## 2016 年度\*事業報告書

(\*2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

### I.法人の状況に関する重要な事項（事業の経過及びその成果）

#### 1. 認知度把握調査事業

##### 1-1. COPD認知度把握調査

概要：健康日本21（第二次）の指標として取り上げられたGOLD日本委員会の調査と同じ方法論で、認知度の推移を調べた。

実施時期：2016年12月1日～5日

内容：全国 10,000 人の成人男女を対象としたインターネット調査

実施概要：

	予備調査	本調査
方法	インターネット調査	
調査期間	2016.12.1-5	2016.12.2-5
調査対象	マクロミル社調査パネルの中から性（男・女）、年代（20代・30代・40代・50代・60歳以上）別に1,000人ずつを均等ランダム抽出した10,000人	予備調査でCOPDが「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性（男・女）、年代（20代・30代・40代・50代・60歳以上）別に11人ずつを均等ランダム抽出した110人
調査内容	Q1. あなたは COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気を知っていますか？ Q2. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか？ Q3. 「COPD の早期発見に肺年齢の検査が有効である」と言われていることを知っていますか？	Q1. COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？ Q2. どのような経路で COPD について知りましたか？ Q3. COPD の原因の 90%以上は喫煙であることを知っていますか？ Q4. 喫煙経験のある 40 歳以上の 8 人に 1 人は、COPD の可能性があることを知っていますか？ Q5. COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？

- 結果：
- ・2016年12月のCOPD認知度は25.0%。
  - ・2016年のCOPDの認知度は、2015年の27.3%から2.3ポイント低下した。
  - ・COPDを認知した時期について尋ねたところ、この3年の間にCOPDについて知った人は2015年の半分以下に減少した。
  - ・COPDの認知経路について尋ねたところ、2015年と比べて「テレビ」「新聞」が減少した一方、「インターネット」と「医師や医療関係者から聞いて」がわずかに増加した。

プレスリリース配信状況：

① 配信日：

2016年12月20日（火）

② 配信方法：

本町記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブへの持ち込みおよびインターネットプレスリリース配信サービスの AEROPRES、内外総合通信社を通じて配信。

③ プレスリリース本文：

附属明細書の P.8～12 に記載。

メディア掲載状況：

メディア掲載数：2件（メディア掲載リストを附属明細書のP.13に記載）

## 2. 啓発事業

### 2-1. ホームページによる情報発信

概要： ・ 年間を通じてホームページ（[www.gold-jac.jp](http://www.gold-jac.jp)）で COPD の疾患情報、統計情報等を発信し、また、各地で行われるイベント情報の発信を行った。  
・ イベント情報の発信を充実させるため、イベント登録を促進した。  
・ 新しい GOLD ガイドラインの改訂のポイントに関するコンテンツを追加する（日本語版）ことを計画していたが、本年度は実施されなかった。

結果： 2016年度アクセス数：

アクセス数： 348,148PV ユニークユーザー数\*： 180,661UU

\*月次ユニークユーザー数の累計。月ごとで重複あり。

### 2-2-1. 日本 COPD サミットの共催

概要： 2014年度から世界 COPD デー前後に継続的に開催しているメディアフォーラム「日本 COPD サミット」を、一般社団法人日本呼吸器学会、公益財団法人日本呼吸器財団とともに開催した。

目的： 健康日本 21（第二次）に「COPD」が掲げられ、啓発活動の活性化に期待が持たれる中、各団体が協力することでよりインパクトある啓発活動に繋げ、各メディア・自治体・医療関係者・一般市民への情報発信を高めること。

主催： 一般社団法人 GOLD 日本委員会／一般社団法人日本呼吸器学会／公益財団法人日本呼吸器財団

共催： 公益社団法人日本医師会／日本 COPD 対策推進会議／公益財団法人結核予防会／一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本呼吸器疾患患者団体連合会／慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟／一般社団法人 COPD 啓発プロジェクト

後援： 一般社団法人日本糖尿病学会関東甲信越支部、公益財団法人骨粗鬆症財団、

厚生労働省、東京都

日 時： 2016年11月9日（水） 13時30分～16時00分

会 場： 日本医師会館（東京都） 1F 大講堂

タイトル： 2016年度日本 COPD サミット「肺の生活習慣病—COPD は全身におよぶ病気です—」

対 象： 医療関係者（医師、コメディカル、健診団体、自治体健康政策担当者）、一般、メディア関係者（全国紙／メディカル専門紙誌／TV 等）

告 知： 附属明細書の P.14 に記載

プログラム： 附属明細書の P.14 に記載

結 果： 参加人数 177 名（一般 104 名、行政・医療関係者 33 名、プレス 8 名、関係者 32 名）

### 2-2-2. 特別事業：読売新聞 世界 COPD デー特別企画

概 要： 世界 COPD デーのタイミングに合わせ各メディア・自治体・医療関係者・一般市民への情報発信を高め、認知度向上を目指す。併せて 2016 年度日本 COPD サミット開催についての告知も行い、集客を支援した。

掲 載 日： 2016年10月22日（土）

媒 体： 読売新聞東京セット版朝刊（記事広告+純広告） 計 15 段

掲載エリア： 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県

テ ー マ： 世界 COPD デー特別企画「肺の生活習慣病-COPD は全身におよぶ病気です」（2016 年度日本 COPD サミットテーマと連携）

構 成： 附属明細書の P.33 に記載

協力企業： 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社

### 2-3. 関連学会へのブース出展

概 要： 医療従事者に対する当法人の活動の啓発および正会員の募集を行った。

出 展 先： ① 第56回日本呼吸器学会学術講演会

会 場： 京都府・国立京都国際会館

開催期間： 2016年4月8日～10日

② 第26回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

会 場： 神奈川県・パシフィコ横浜

開催期間： 2016年10月10日～11日

内 容： ブース出展（GOLD日本委員会の活動紹介）

結 果： 正会員の入会申込み ②で1名

### 3. 啓発支援事業

#### 3-1. GOLD 日本委員会オリジナル啓発資材等の案内・提供

概要：健康日本21（第二次）の指針にしたがって啓発活動に取り組む自治体や団体を支援するため、啓発活動のノウハウや資材を案内・提供した。

実施時期：2016年4月～2017年3月

内容：① メールマガジンの配信：

COPD講習会参加者（行政健康政策担当者など）、2012年度に実施した「COPD啓発活動についてのアンケート」に回答し、メールアドレスを登録した自治体担当者・病院関係者・健康組合担当者等（280名）および自治体健康政策担当者向けCOPD講習会でメールアドレスを登録した受講者（40名）に対し、支援のメールマガジンを配信した。

・ 配信件数： 320件

・ 配信時期： 2016年10月25日（火）

② 啓発ツールの作成および提供：

啓発資材を希望する自治体にはホームページ上で啓発活動の登録を行うことを条件に、以下の啓発資材を提供した。自治体以外にも医療機関、健康保険組合、患者団体などに限り資材提供した。

・ 有償で提供した啓発ツール

提供方法： ホームページでイベント・プラン登録後に遷延する啓発ツール申し込みフォームから注文を受け付け、宅急便等で発送

申込件数： 9件 （申込一覧を附属明細書のP.35に記載）

提供資材	2016年度作成数	実費	送料	2016年度提供数
小冊子「肺の病気 COPD ってなんだろう」	0部	10円 / 冊	実費	1,300冊
GOLDリボンピンバッジ	0個	100円 / 個	実費	365個
GOLDリボン応援団ステッカー	法人設立前に作成	5シートまで無償	実費	30シート
COPD 集団スクリーニング質問票 (COPD-PS)	ディスカバリー COPD 研究会からの支給	無償	実費	160冊

・ 無償で提供した啓発ツール

提供方法： イベント・プラン登録者に自動配信メールでダウンロードページを案内

提供資材	仕様
世界 COPD デーポスター	PDF データ 2 種
勉強会用パワーポイント	Microsoft PowerPoint データ
ポスター・チラシテンプレート	Microsoft Word データ各 2 種
肺年齢チェック体験説明書（検査質問票）	PDF データ
COPD 集団スクリーニング質問票 (COPD-PS)	PDF データ

③ 啓発活動の登録数：26件（登録数一覧を附属明細書の P.35 に記載）

### 3-2. 自治体担当者向け COPD 講習会の実施

概要：2014年度から重点事業として位置付け継続。当法人の本予算に計上し、運営を行い、2016年度も独立行政法人環境再生保全機構との共催で、大阪府と神奈川県との2会場でCOPDの予防等に関する講習会を開催した。

実施概要：

会場	大阪会場	神奈川県会場
開催期間	2017年1月23日	2017年1月25日
時間	13:30～16:50 スパイロメーター実習体験 1回目 12:50～13:30 2回目 16:20～17:00	
会場	ホテル京阪京橋グランデ 「かがやきの間」 大阪市都島区東野田町2丁目1-38	パシフィコ横浜 会議センター3階 302 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
タイトル	COPDの予防等に関する講習会	
テーマ	地域で取り組むCOPD対策～認知度向上と早期発見を目指して～	
対象	地方公共団体の職員（政策担当者、保健師、看護師等、医療機関等に勤務するメディカルスタッフ）	
主催	独立行政法人環境再生保全機構、一般社団法人 GOLD 日本委員会	
後援	環境省、厚生労働省 大阪府、大阪市、堺市、豊中市、吹田市、守口市、八尾市、東大阪市、神戸市	環境省、厚生労働省 神奈川県、横浜市、川崎市

プログラム：

会場	大阪会場	神奈川県会場
第1部 講演	「COPDの基礎知識と最新情報」	
	田中 一正先生 (昭和大学 富士吉田教育部 教授)	堀江 健夫 先生 (日本赤十字社前橋赤十字病院 呼吸器内科 副部長)
	「健康日本21(第二次)」におけるCOPD対策の現状と課題について	
	西村 正治 先生 (GOLD日本委員会 理事、北海道大学医学部呼吸器内科学 教授)	長瀬 隆英 先生 (GOLD日本委員会 代表理事、東京大学医学部呼吸器内科学 教授)
第2部 パネルディスカッション	「地域におけるCOPD対策の取り組みについて」	
	衣川 広美 氏 (神戸市保健福祉局健康部健康づくり支援課健康増進担当課長)	船山 和志 氏 (横浜市健康福祉局健康安全部保健事業課事業推進担当課長)
第2部 パネルディスカッション	「COPDの認知度向上と早期発見を目指して」	
	座長：長瀬 隆英 先生 パネリスト：西村 正治 先生 田中 一正 先生 衣川 広美 氏	座長：福地 義之助 先生 (GOLD日本委員会 名誉会長、順天堂大学名誉教授) パネリスト：堀江 健夫 先生 長瀬 隆英 先生 船山 和志 氏

結果：参加人数：①79名（スパイロ参加者：32名）  
②69名（スパイロ参加者：32名）

アンケート結果より：

両会場とも、「参加して役立つ情報や新たな知識が得られましたか。」という質問に対し、「得られた」「やや得られた」と回答した人は、大阪会場が84%、神奈川会場が94%と高い評価を得られた。

一方で、「本講習会をヒントに今後COPD啓発事業を前向きに検討しようと思いましたが？」という質問に対し「思わない」と回答した人、および「無回答」の人は、大阪会場が49%、神奈川会場が55%と約半数となり、理由として、組織内の理解度の低さ、知識共有の不十分さ、また、検査機器導入の予算と人員の不足などの懸念があることが分かった。

### 3-3. 各自治体の COPD 啓発取り組みの調査・検証

概要： 2013年度から重点事業として実施してきた「自治体健康政策担当者向け COPD講習会」受講後の啓発活動状況を調査、検証した。

対象： 「COPD講習会」を受講した各自治体

実施時期： 2016年9月28日（金）～10月19日（水）

調査方法： 自治体健康政策担当者 173名

過去に実施したCOPD講習会の来場者アンケートでメールアドレスを登録した自治体健康政策担当者…40名

2012年に実施したCOPD啓発活動についてのアンケートでメールアドレスを登録した自治体健康政策担当者…133名。

結果： 有効回答数：33件

2016年度日本COPDサミットで調査結果を発表した。

（アンケート調査詳細は、附属明細書のP.36～41記載）

### その他の活動：港区 COPD 講演会の後援

概要： 2015年に引き続き、みなと保健所が主催する一般向け啓発イベントを後援し、協力した。

開催概要：

会場	男女平等参画センター（リーブラ）学習室C（みなとパーク芝浦内）
開催日時	2016年11月21日（月） 14：00～16：00
タイトル	あなたの肺、元気ですか？～知らないとコワイ、COPDの基本～
講師	一般社団法人GOLD日本委員会 代表理事 長瀬隆英先生
主催	港区
後援	一般社団法人GOLD日本委員会

結果： 参加人数 33名



#### 4. 調査研究事業

##### 4-1. COPD早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施

概要：当法人の事業目的の一つである「COPDの併存症に関する疫学調査」に関連する多施設の研究を促進した。

実施時期：2016年度

テーマ：「睡眠呼吸障害（SDB）とCOPD—疫学と病態に関する後ろ向き研究」継続

分担研究者：順天堂大学医学部附属順天堂医院 呼吸器内科 塩田 智美 先生

東京大学医学部附属病院 老年病科 山口 泰弘 先生

東北大学大学院医学系研究科 産業医学分野/呼吸器内科 小川 浩正 先生

日本医科大学呼吸ケアクリニック 呼吸器内科学 楠 裕司 先生

結果：①第56回日本呼吸器学会にて、下記の内容でEnglishポスターセッションで発表した。

- ・東京大学と順天堂大学のデータから、COPDと睡眠呼吸障害の合併症例では、睡眠呼吸障害のみの患者さんと比較して、特徴的な睡眠ポリソムノグラフィー所見のあることを見出した。

②東京大学医学部附属病院 老年病科にてデータ入力進行中。

#### 5. その他（特別事業の検討） ※本予算以外で費用を捻出

##### 5-1. 地方自治体健康政策担当者向け「COPD講習会」全国大会

概要：行政向け情報サイト「iJAMP」運営会社である時事通信社主催による「COPD講習会」の全国大会を企画、実施する。特別賛助会員の製薬会社様に共催企業としての協力を打診する。

実施時期：2016年度

テーマ：「スモークフリー社会で健康寿命を延伸」（仮）

内容：禁煙、受動喫煙にCOPDを絡め、健康日本21（第二次）の目標である認知度80%を目指した取り組みを加速させるために、自治体健康政策担当者向けにCOPDの基礎知識および啓発活動ノウハウの提供を行う場とする。

実施予算：500万～700万（規模による）

結果：今年度は実施を見送った。

##### 5-2. ACジャパン支援キャンペーン申請

概要：ACジャパンが行っている、公共福祉活動をする非営利団体の広告活動を支援する「支援キャンペーン」へ応募した。

申請日：2016年7月31日

支援期間：原則2年間／次キャンペーン年度：2017年7月～2018年6月

負担金（キャンペーン参加料）：1,500万～2,000万（制作費）／年間

結果：不採用（詳細は、附属明細書のP.42）記載

### 5-3. 「特定健康検査・特定保健指導の在り方に関する検討会」への提言

概要： 「特定健康診査・特定保健指導の在り方に関する検討会」にCOPD健診を項目として追加することを提言した。

要望書の内容： ・検討会にて呼吸器専門医を招聘し、COPDに関する現状についてヒアリングの場を設けていただく。  
・肺機能（COPD）に関する「問診」の追加について検討することを依頼。

結果： ① 2016年5月11日に日本呼吸器学会との連名で要望書を提出。

（詳細は、附属明細書P.43に記載）

② 2016年6月1日に同会の座長永井良三先生よりご連絡いただき、話し合いの場を設けた。

出席者： 特定健康診査・特定保健指導の在り方に関する検討会

座長 永井良三先生

日本呼吸器学会 理事長 橋本修先生

GOLD日本委員会 代表理事 福地義之助先生

GOLD日本委員会 理事 長瀬隆英先生

## 6. その他の活動報告

### 6-1. 会員募集及び管理業務

ホームページ ([www.gold-jac.jp](http://www.gold-jac.jp)) や学会でのブース出展などを通じ、会員の募集を行った。また、賛助会員の区分を改定し、2016年度の会員数は以下のとおり。

賛助会員（ゴールド会員）： 8企業

賛助会員（シルバー会員）： 2企業

賛助会員（ブロンズ会員）： 3企業

正会員： 34名・団体

### 6-2. 後援名義等の使用承認

2016年度に以下の1件の後援名義使用承認を行った。

許可番号	後援/ 共催	申請者	事業名	承認日	承認の 条件	開催日
0022	後援	港区みなと保健所 健康推進課	健康講座「あなたの肺、 元気ですか？～知らない とコワイ、COPDの基本 ～」	2016. 10. 27	特になし	2016. 11. 21

## Ⅱ.業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

### 1. 役員等に関する事項

2016年6月21日に開催された2016年度定時社員総会において、理事及び監事の改選が行われた。また、同日開催された2016年度第2回通常理事会において、代表理事および事務局長、業務執行理事の選任が行われた。

役職	氏名	常勤/ 非常勤	就任年月日	報酬	担当職務	現職名
理事	福地 義之助	非常勤	2012.10.09	無	名誉会長	順天堂大学名誉教授
理事	長瀬 隆英	非常勤	2012.10.09	無	代表理事	東京大学医学部呼吸器内科教授
理事	一ノ瀬 正和	非常勤	2012.10.09	無		東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野教授
理事	今村 聡	非常勤	2014.6.27	無		公益社団法人日本医師会副会長
理事	植木 純	非常勤	2012.10.09	無	事務局長	順天堂大学医療看護学部 学部長
理事	木田 厚瑞	非常勤	2012.10.09	無		日本医科大学特任教授
理事	木村 弘	非常勤	2016.06.21	無		日本医科大学大学院医学研究科 肺循環・呼吸不全先端医療学寄附講座 日本医科大学付属病院呼吸器内科 教授（就任時：奈良県立医科大学内科学講座 統括教授）
理事	瀬山 邦明	非常勤	2012.10.09	無	業務執行理事	順天堂大学医学部呼吸器内科准教授
理事	永井 厚志	非常勤	2012.10.09	無		東京女子医科大学名誉教授
理事	西村 正治	非常勤	2012.10.09	無		北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野教授
理事	橋本 修	非常勤	2016.06.21	無		日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野 主任教授
理事	三嶋 理晃	非常勤	2012.10.09	無		社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院 病院長
監事	工藤 翔二	非常勤	2012.10.09	無		公益財団法人結核予防会理事長

### 2. 事務局業務に関する事項

昨年度に引き続き、会計事務を含む事務局業務を外部業者である株式会社エム・シー・アンド・ピーに委託した。

委託先： 〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目1番7号 NBF 日比谷ビル 19階  
株式会社エム・シー・アンド・ピー

TEL： 03-3597-0175 FAX： 03-3597-0177

### 3. 会議等に関する事項

会議名 開催年月日	議事事項
第1回通常理事会 2016.5.30	<p><b>【議案審議】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 2015年度事業報告承認・決算承認・監査報告 2015年度の事業報告書および決算報告書について事務局より説明が行われ、承認された。工藤監事より、業務および経費内容が妥当であるとの監査結果が報告された。</li> <li>第2号議案 入会承認 正会員入会申請者1名および特別賛助会員入会申請者1社の入会が承認された。</li> <li>第3号議案 内規の承認 会員に関する規定、啓発資材の配布、利用について、名誉会長および名誉理事、特別顧問の推薦に関する規定の制定が原案通り承認された。</li> <li>第4号議案 定款の変更 会員に関する規定、啓発資材の配布、利用について、名誉会長および名誉理事、特別顧問の推薦に関する規定の制定に伴う定款の一部変更が検討され、承認された。</li> <li>第5号議案 理事・監事候補者の決定 理事会が推薦する理事・監事候補者を以下の通り決定した。 &lt;理事候補者&gt; ・一ノ瀬正和（東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野 教授） ・今村 聡（公益社団法人日本医師会 副会長） ・植木 純（順天堂大学医療看護学部 学部長） ・木田厚瑞（日本医科大学 特任教授） ・木村 弘（奈良県立医科大学内科学講座 統括教授）：新任 ・瀬山邦明（順天堂大学医学部呼吸器内科 准教授） ・永井厚志（東京女子医科大学名誉教授） ・長瀬隆英（東京大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 教授） ・西村正治（北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野 教授） ・橋本 修（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野 主任教授）：新任 ・福地義之助（順天堂大学名誉教授） ・三嶋理晃（社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院 病院長） &lt;監事候補者&gt; ・工藤翔二（公益財団法人結核予防会 理事長）</li> </ol> <p><b>【報告事項】</b> 2016年度活動進捗報告が行われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本 COPD サミットのプログラム委員会開催について</li> <li>関連学会のブース出展について</li> <li>COPD 早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施について</li> <li>「特定健康検査・特定保健指導の在り方に関する検討会」への提言について</li> </ol> <p>2016年度の収支予算中間報告が行われた。</p>
定時社員総会 2016.6.21	<p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2015年度事業報告及び計算書類報告 ①事務局から2015年度事業報告書が説明された。関連して2015年度決算に伴う計算書類の説明がなされた。 ②議長がその賛否を語り、原案通り承認された。 ③監事より予め提出があった監査報告書を議長が代読し、監査報告書に記載したとおり特段あらたに指摘すべき事項はないとの旨報告があった。 ④議長がその賛否を語り、原案通り承認された。</li> <li>2016年度事業計画及び収支予算報告 ①議長の指名により、事務局から先般の理事会で承認された2016年度事業計画及び収支予算の説明がなされた。併せて、各事業の進捗状況が報告された。 ②議長がその賛否を語ったが、報告に関しての特段の質問もなく、原案通り承認された。</li> </ol> <p><b>【決議事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 理事12名及び監事1名選任の件 議長は、理事の全員が本定時社員総会の終結と同時に任期満了し退任することになるためその改選の必要がある旨を述べた。議長が理事の改選についてその選任方法を語ったところ、出席社員中から議長の指名に一任したいとの発言があり、一同これを承認したので、議長は下記の者をそれぞれ候補者に指名し、これらの者につき個別にその可否を語ったところ、以下のとおり選任することに可決確定した。被選任者は席上で即時就任を承諾した。 (理事) 一ノ瀬正和、今村聡、植木純、木田厚瑞、木村弘、瀬山邦明、永井厚志、長瀬隆英、西村正治、橋本修、福地義之助、三嶋理晃 (監事) 工藤翔二</li> <li>第2号議案 定款変更の件</li> </ol>

	<p>議長は第 2 号議案定款変更の件を上程し、内容について説明し、議場に諮ったところ、特段の質問もなく、委任状による賛成を含め総社員の議決権の 3 分の 2 以上を得たので、原案のとおり承認可決された。</p> <p>3. 内規等変更の件 議長は第 3 号議案内規等変更の件を上程し、内容について説明し、議場に諮ったところ、特段の質問もなく、委任状による賛成を含め総社員の議決権の 3 分の 2 以上を得たので、原案のとおり承認可決された。</p>
<p>第 2 回通常理事会 2016.6.21</p>	<p><b>【審議事項】</b></p> <p>1. 第 1 号議案 代表理事・業務執行理事・事務局長の選任 理事長瀬隆英が選ばれて議長となり、議長は、今般代表理事福地義之助が理事任期満了のため代表理事を退任することになるので、改めて当法人の代表理事を選定したい旨を述べ、慎重協議した結果、全員一致をもって次のとおり選定した。なお、被選定者は、席上で即時その就任を承諾した。 代表理事 長瀬隆英 同様に、改めて当法人の業務執行理事・事務局長を選定したい旨を述べ、慎重協議した結果、全員一致をもって次のとおり選定した。なお、被選定者は、席上で即時その就任を承諾した。 業務執行理事 瀬山邦明 事務局長 植木純</p> <p>2. 第 2 号議案 代表理事より名誉会長が推戴され、全員一致をもって次のとおり承認された。 名誉会長 福地義之助</p> <p>3. 第 3 号議案 入会承認 賛助会員入会申請者 1 社の入会が承認された。</p> <p>4. 第 4 号議案 2016 年度修正収支予算書の承認 2016 年度修正収支予算書が提案され、承認された。</p> <p><b>【報告・検討事項】</b></p> <p>1. 定款変更に伴い、賛助会員の区分確認のため、入会状況が報告された。</p>
<p>第 3 回通常理事会 2017.3.27</p>	<p><b>【報告事項】</b></p> <p>2016 年度の事業活動について事務局より報告があった。</p> <p>1. 認知度把握調査事業について（2016 年 12 月の認知率が 25.0%だったこと、リリース結果）</p> <p>2. 啓発事業： ① ホームページによる情報発信について（アクセス数） ② 日本 COPD サミットの共催について（概要、メディア掲載状況、収支等） ③ 関連学会のブース出展について（概要、結果）</p> <p>3. 啓発支援事業： ① 自治体の啓発活動支援について（啓発ツールの作成・提供、ツール申し込みと啓発活動の登録状況、支援のメールマガジン配信について） ② COPD の予防等に関する講習会の実施について（概要、実施状況、アンケート結果） ③ 各自自治体の COPD 啓発取組の調査・検証について（概要の説明、アンケート結果）</p> <p>4. 調査研究事業： ① 早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施について（各実施施設でデータ入力等が進められている）</p> <p>5. その他（特別事業の検討）： ① 地方自治体健康政策担当者向け「COPD 講習会」全国大会について（概要と結果） ② AC ジャパン支援キャンペーン申請について（結果と報告） ③ 「特定健康検査・特定保健指導の在り方に関する検討会」への提言について（概要と結果）</p> <p>6. その他の活動報告 ① 後援名義等の使用承認</p> <p>2016 年度予算の収支予算（通期見込）の報告が行われた。</p> <p><b>【議案審議】</b></p> <p>1. 第 1 号議案 2017 年度事業計画 2017 年度事業計画案が原案通り承認された。</p> <p>2. 第 2 号議案 2017 年度収支予算 2017 年度収支予算案が原案通り承認された。また、賛助会員区分の増設について検討され、上位ステージ（会費 200~300 万円）をつくることで合意された。</p>

以上

# 計 算 書 類

**貸借対照表**  
(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	970,514	買掛金	1,981,434
		未払金	2,160
		未払法人税等	70,800
貯蔵品	141,035	負債合計	2,054,394
		(正味財産の部)	
		一般正味財産	-942,845
		正味財産合計	-942,845
資産合計	1,111,549	負債・正味財産合計	1,111,549

# 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
特別賛助会費		9,000,000	-9,000,000
賛助会費	9,400,000	300,000	9,100,000
一般会費	60,000	56,000	4,000
② 事業活動収入			0
特別企画収入	7,560,000	0	7,560,000
共催負担金	2,085,000	2,200,000	-115,000
寄付金	830,000	1,330,000	-500,000
物品販売収入	69,732	114,612	-44,880
② 雑収益			0
受取利息	24	864	-840
経常収益計	20,004,756	13,001,476	7,003,280
(2) 経常費用			
① 事業費			
特別企画費用	7,560,000		7,560,000
会場費			0
イベント運営費	4,369,135	4,408,887	-39,752
検査技師手数料			0
啓発支援事業費	986,512	1,933,422	-946,910
論文投稿費	108,000		108,000
調査費用	313,200	313,200	0
ホームページシステム改修費	211,950	162,000	49,950
旅費交通費			0
物品販売等事業費	55,293	107,962	-52,669
② 管理費			0
設立準備諸経費			0
運営費	4,536,000	4,536,000	0
通信費	94,222	94,232	-10
旅費交通費	1,426,336	999,392	426,944
会議費	303,989	350,214	-46,225
会計決算費用	352,080	28,080	324,000
法人登記費用	109,450		109,450
租税公課	70,802	70,152	650
雑費	87,156	46,006	41,150
経常費用計	20,584,125	13,049,547	7,534,578
当期経常増減額	-579,369	-48,071	-531,298
当期一般正味財産増減額	-579,369	-48,071	-531,298
一般正味財産期首残高	-363,476	-315,405	-48,071
一般正味財産期末残高	-942,845	-363,476	-579,369



## 財務諸表に対する注記

### (1) 重要な会計方針

#### ① 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込処理を採用しています。

### (2) 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

**財産目録**  
平成29年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	普通預金 三井住友銀行 神保町支店	手元保管	1,507
			運転資金として	882,312
		当座預金 ゆうちょ銀行 0一九店	運転資金として	86,695
		預金合計		969,007
	貯蔵品	99.66円/個×361個	GOLDピンパッチ	35,977
	貯蔵品	14.553円/冊×7,219冊	「COPDってなんだろう」小冊子	105,058
		貯蔵品合計		141,035
流動資産合計				1,111,549
資産合計				1,111,549
(流動負債)	買掛金 未払金		事業費・管理費費用の掛金額	1,981,434
			管理費に係る費用の未払い	2,160
		買掛未払合計	1,983,594	
	未払法人税等	東京都 法人都民税均等割 他		70,800
流動負債合計				2,054,394
負債合計				2,054,394
正味財産合計				-942,845

一般社団法人GOLD日本委員会  
2016年度経費収支決算報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

一般会計

(単位:円)

科 目	2016年度 予算額①	2016年度 実績	2016年度予算額との 差額②-①	備考
<b>【収入の部】</b>				
賛助会費収入(ゴールド会員)	10,000,000	8,000,000	-2,000,000	
賛助会費収入(シルバー会員)	1,000,000	1,000,000	0	
賛助会費収入(ブロンズ会員)	400,000	400,000	0	
会費収入	66,000	60,000	-6,000	34人×2,000円(2016年度分5,600円、2013.2014年度分4,000円)
寄付金収入	1,100,000	830,000	-270,000	
寄付金	100,000	0	-100,000	
日本COPDサミット	1,000,000	830,000	-170,000	日本COPDサミット実施予算①企業からの寄付金 83万円(2016年度実績)
共催負担金	2,200,000	2,085,000	-115,000	
日本COPDサミット	2,200,000	2,085,000	-115,000	日本COPDサミット実施予算②共催負担金 計208.5万円 JRS 108.5万円、JRF 100万円
特別企画収入(日本COPDサミット広告費)	0	7,560,000	7,560,000	
事業活動収入	120,000	69,732	-50,268	自治体の啓発活動支援事業
受取利息	864	24	-840	
当期収入合計(A)	14,886,864	20,004,756	5,117,892	
前期繰越収支差額	-789,824	-789,824	0	
収入合計(B)	14,097,040	19,214,932	5,117,892	
<b>【支出の部】</b>				
運営費	6,719,080	6,745,395	26,315	
事務局委託費	4,536,000	4,536,000	0	月額378,000円
会計・決算費用	352,080	352,080	0	税理士費用・弥生会計契約更新(28,080円) ※2015年度決算費用(324,000円)を2016年度に支払う
会議費	300,000	303,989	3,989	理事会3回、社員総会1回
旅費交通費	1,080,000	1,191,696	111,696	
通信費	100,000	94,222	-5,778	
振込手数料	46,000	47,412	1,412	EBサービス手数料(月額2,160円)含む
租税公課	70,000	70,802	802	
雑費	35,000	39,744	4,744	文具、消耗品、封筒作成費、名刺作成等
法人登記費用	200,000	109,450	-90,550	役員変更手続き用 行政書士費用、印鑑証明書・履歴事項全部証明書費用
事業活動費	7,272,600	13,553,417	6,280,817	
1. 啓発事業費	4,949,400	11,968,250	7,018,850	
ホームページメンテナンス	194,400	211,950	17,550	ホームページメンテナンス費、サーバー利用料(2016年4～2017年1月 月額10,800円、2017年2月18,900円、3月 21,600円)、SSL証明書・ドメイン更新料(年額32,400円)
日本COPDサミット	4,000,000	4,000,000	0	日本COPDサミット実施予算④GOLD 108.5万円 実施予算①～③合計 400万円
日本COPDサミット記録用DVD制作	595,000	135,000	-460,000	
日本COPDサミット新聞啓発広告費		7,560,000	7,560,000	ノバルティスファーマ株、日本ペーリンガーインゲルハイム株 324万円、グラクソ・スミスクライン株108万円
関連学会ブース出展	160,000	61,300	-98,700	日本呼吸器学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
2. 啓発支援事業費	1,450,000	935,232	-514,768	
啓発資料等の案内・提供 (自治体の啓発活動支援)	350,000	369,792	19,792	小冊子改訂増刷、ピンバッジ作成、啓発ツール保管費(月額25,920円)・発送費 ※2016年度小冊子、ピンバッジ作成なし
自治体担当者向けCOPD講習会	1,000,000	547,064	-452,936	COPD講習会実施予算 謝礼、旅費交通宿泊費など(2会場)
各自治体のCOPD啓発取り組みの調査・検証	100,000	0	-100,000	
その他	0	18,376	18,376	GOLD-jac紹介スライド英文翻訳
3. 認知度把握調査事業費	313,200	313,200	0	
インターネット調査	313,200	313,200	0	
4. 調査研究事業費	560,000	336,735	-223,265	
疫学研究プロジェクト実施	560,000	228,735	-331,265	
論文投稿	0	108,000	108,000	
当期支出合計(C)	13,991,680	20,298,812	6,307,132	
当期収支差額(A)-(C)	895,184	-294,056	-1,189,240	
次期繰越収支差額(B)-(C)	105,360	-1,083,880	-1,189,240	

# 監查報告書

# 監査報告書

平成 29 年 5 月 30 日

一般社団法人 GOLD 日本委員会

代表理事 長 瀬 隆 英 殿

一般社団法人 GOLD 日本委員会

監事 工 藤 翔 二 ⑩

私は平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの平成 28 年度における一般社団法人 GOLD 日本委員会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

## 1. 監査の方法概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

## 2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、法人の財政状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上